

すこやか**健**保★
Special Issue

健保連が入試問題風リーフレットを配布

問題を解く中で現状への理解を

私たちは、具合が悪くなれば健康保険証を持つていつでもどこでも医療機関を受診することができます。窓口負担も原則3割で、1カ月の負担が一定額を超えると高額療養費制度により負担が軽減されます。当たり前のように思っているかもしれませんが、これは世界から見ると非常に稀有な制度なのです。そのわが国が世界に誇る健康保険制度に今、大きな暗雲が立ち込めています。

団塊の世代が全員75歳以上になる2025年。さらに、高齢者人口がピークを迎える2040年頃にかけて、人口の高齢化とともに医療の高度化、高額化などにより医療費は増大し、現役世代の減少も相まって、健康保険制度が深刻な状況に陥ることが危惧されています。

今、大事なわが国の医療費の仕組みや健康保険制度などについて、まずは自分自身の問題として正しく理解することです。健保連は昨年12月に健保組合の加入者を対象とした入試

問題風リーフレットを作成し、全国の健保組合を通じて提供していくとともに、マスコミを通じて広く公開しました。

リーフレット「みんなで解こう 医療と健康保険の問題」は、「医療費の危機的状況」「自分の健康の守り方」「正しいセルフメディケーション」に関する6つの設問からなります。

問題を解くことで、医療・健康保険制度の現状や課題が、自分自身のこととして実感できます。リーフレットを見かけたらぜひ回答にチャレンジしてみてください。



二次元コードでアンケートに応募すると、抽選でデジタルギフトが当たります(応募の締め切りは2月20日17時)。

知っておきたい! 健保のコト

VOL.69

「ナビイ」を試してみても

厚生労働省が設置する医療情報ネット「ナビイ」をご存じですか。ナビイは、パソコンやスマートフォンで全国の医療機関、薬局について検索・情報収集できるサービスです。従来は都道府県ごとに運用されていましたが、2024年4月から全国統一システムとしてリニューアルされました。

利用方法は、ご自身が検索したい地域や診療科などから調べます。例えばオンライン診療などのキーワードを入力して検索すると、都道府県内に加え、都道府県域を越えて全国から対応する医療機関を検索することもできます。

皆さんの中には職場で急に具合が悪くなって、症状に対応する近くの医療機関を探すのに苦労した経験もあるのではないのでしょうか。このような場合、ナビイでは、トップページの「急いで探す」をクリックし、「現在の場所から指定する」を選択して診療中の医療機関を探すことができます。もちろん、市区町村からも指定できます。

職場や自宅周辺の医療機関をスムーズに検索する方法としては、あらかじめ登録したい地点(住所)を入力しておく「マイホーム登録」の機能もあり、こちらからの検索も便利でしょう。

これらの活用は一例であり、ご自身の希望や状態に合った医療機関を検索するためにもナビイを活用してみてもいいのではないでしょうか。



厚生労働省が開設している「ナビイ」はこちら

